質 問 書 に 対 す る 回 答

入札番号　　広消１

件　　名　　医療系廃棄物処分委託業務

次のとおり回答します。

質問番号	質問内容	回　　答	設計図書等の該当頁（該当箇所）
1	各業務場所における収集頻度はどれくらいか。また、収集の日程調整の方法はどの様に行うのか。	収集頻度は、廃棄量の状況により異なる。（令和２年度の状況は別紙のとおり） 日程調整は、その都度、調整を行うこととする。	仕様書 （1　委託業務の内容内の⑸について）
2	廃棄物の収集の際に、処理容器を納品する方法で問題ないか。	問題ない。 （収集した数量を納品）	仕様書 （1　委託業務の内容内の⑸について）
3	排出工程と、特別管理産業廃棄物に該当する理由を教えて頂きたい。	救急隊が使用した感染性廃棄物（血液付着物、注射針、汚物等）に加えて、ドクターカー及びドクターヘリ医師が救急車同乗後に使用する注射針、注射筒、廃血液等も含まれるため、特別管理産業廃棄物に該当する。	発注表 （入札参加条件③について）

別　紙

令和2年度　各業務場所における月別医療系廃棄物処分量（45リットル段ボール（血液付着物））　単位：箱

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消防局		1				2			3				6
米子消防署	10	9	4	10	3	8	5	8	25	16	12	13	123
皆生出張所	6	3		4	3	3	2	7	6	7	3	3	47
南部出張所	4			3	3		1	2	4	3		5	25
伯耆出張所		4					2		5				11
境港消防署	5	4	8	4	8	7	6		17	16		11	86
弓浜出張所													
大山消防署		3	3	4	4	3	3	3	6	3	3	5	40
中山出張所													
江府消防署	4	5		2	4			1	5	5		3	29
生山出張所													
合計	29	29	15	27	25	23	19	21	71	50	18	40	367

＊注射針容器（20リットルポリ容器）の排出実績については、上記とは別に、5月に1ケースを消防局より排出しています。